様式第1号（第3条関係）

町営住宅等入居申込書

受付番号	抽選番号

総点数

年　　月　　日

楢葉町長　　様

町営住宅に入居したいので関係書類を添えて申し込みます。

住　　所

入居申込者　氏　　名　　㊞

電話番号

（フリガナ）氏　名	入居申込者との続柄	生年月日	入居後の同居・別居の別	職業	勤務先の名称及び電話番号	控除対象配偶者扶養親族・老人控除対象配偶者・特定扶養親族・老人扶養親族・普障・特別障害者・老年者・寡婦寡夫の別	所得金額（円）	控除金額（円）
	本人							
合　計							(a)	(b)

収入欄	総所得額(a)　円	－	総控除金額(b)　円	＝	収入算定基礎額(c)　円	収入の額 (c)÷12＝　円

申込みの区分	一般 特定 優先	入居を希望する住宅の名称	申込みの理由	
		団地		

受理		審査	

誓　約　書

1 私、及び同居する者は暴力団員並びに暴力団交遊者ではありません。並びに暴力団関係者とは一切関係ないことを誓約します。また、私、及び同居する者が、暴力団員でないことを福島県警察本部へ照会することにつき、異議は申し立てません。

2 この申込書に記入した事項は、すべて事実に相違ないことを誓約します。

3 この申込書に虚偽の事項を記載した場合は、町営住宅入居申込みの無効処分、当選の失格処分、又は入居決定の取消処分をされても異議ありません。

年　　月　　日

氏　名　　㊞

申込者……は当所に勤務し、次のとおり相違ないことを証明する。
申込の月の前月より過去1ヶ年間分(※印の欄は、記入しないこと。)

給　料	円
扶養手当	円
勤務手当	円
賞　与	円
その他	円
合　計	円
※差引支給額	円

勤務地

職　種

所在地

名　称

☎

(使用者)職場長　氏　名　　㊞

現住所案内図

最寄りの交通機関から申込者の現住所に至る案内図を記入してください。

困窮事項申告欄

1　不良住宅（住宅の不完全なことについて）

入居申込者が現に居住している住宅は、下の欄のどの項目に該当しますか。該当する項目の符号を○で囲んでください。

ア	住宅が倒壊する恐れその他危険な状態にある。
イ	バラック建て住宅（応急的な仮設住宅で、使用材料が粗雑で極めて低質な建物をいう。）である。
ウ	転用住宅（倉庫、物置等住宅以外の建物を転用している住宅をいう。）である。
エ	上記のいずれにも該当しない。

2　生活上著しく不便（生活上設備の不便なことについて）

申込者の使用している炊事場、便所、給水の3設備は専用のものですか。共同使用のものですか。（右の欄の該当する項目の符号を○でかこんでください。）

ア	炊事場、便所及び給水設備が共同である。
イ	上記の3設備のうち2設備が共同である。
ウ	上記の3設備のうち1設備のみ共同である。
エ	上記のいずれにも該当しない。

3　別居（住宅がないため、別居していることについて）

申込者と同一の生計をいとなむ必要があるが住宅がないために別居している人がある場合又は婚姻予約者のある場合には、右の欄の該当する項目の符号を○でかこんでください。

ア	住宅がないため妻若しくは夫又は子と別居している。
イ	住宅がないため扶養を要する親又は弟妹と別居している。
ウ	婚姻が成立しているが住宅がないため結婚できない。
エ	上記のいずれにも該当しない。

4　過密居住（住宅のせまいことについて）

(1)　現に居住している部屋は、何室ですか。　1室　2室　3室以上
（該当欄を○で囲んでください。）

(2)　現在の世帯人数は何人ですか。　　人

(3)　畳数の合計は何畳ですか。　　畳
（板の間の部屋は、畳数になおして合計してください。）

(4)　上記の計算の結果、下の欄のどの項目に該当しますか。該当する項目の符号を○で囲んでください。

ア	イ	ウ	エ	オ	カ
一人当たり 1.3畳以内	一人当たり 1.6畳以内	一人当たり 2.0畳以内	一人当たり2.0畳をこえているが15歳以上の者が3人以上で1室居住	一人当たり2.0畳をこえているが15歳未満の者を含む3人以上で1室居住	左記のいずれにも該当しない。

5　立退要求（明渡しを請求されていることについて）

申込者が現に居住している居住について立退問題がある場合は、それが次の欄のどの項目に該当しておりますか。

次の欄のアとウは、立退問題が裁判上（又は簡易裁判所における調停事件として争いになっている場合に限りますから注意してください。

ア	裁判上の判決、和解又は調停の成立により明渡しが決定済みである。
イ	定年退職、会社の解散等自己の都合以外の理由により社宅等から立ち退くことが必要である。
ウ	立ち退き問題について係争中である。
エ	立ち退きを要求されている。
オ	上記のいずれにも該当しない。

裁判のあつた日又は和解若しくは調停の成立した日	年　月　日
会社等所在地	
会社等の名称	
定年退職、会社の解散等の年月日	年　月　日
管轄裁判所名	裁判所
立ち退き要求の内容	
上記に対して執ろうとしている措置	

6　遠距離通勤（通勤時間・利用交通機関について）

世帯の主たる収入者の通勤時間又は利用交通機関は右の欄でどの項目に該当しますか。（該当する項目の符号を○で囲んでください。）

ア	通常の通勤方法による片道の通勤時間が2時間以上である。
イ	通常の通勤方法による片道の通勤時間が1時間以上2時間未満で片道の利用交通機関の種類が2以上である。
ウ	通常の通勤方法による片道の通勤時間が1時間以上2時間未満である。
エ	上記のいずれにも該当しない。

7　過大住居費（家賃が高いことについて）

現に居住している住居の家賃又は部屋代は、右の欄のどの項目に該当しますか。

ア	住宅の家賃の月額が、月収20パーセントを超えている。
イ	上記に該当しない。

8　町営住宅の入居申込回数

ア	イ	ウ	エ
3回以上	2回	1回	今回初めて

9　特殊事情者

申込者及びその親族に被爆者健康手帳所持者がいる場合又は申込者が炭鉱離職者求職手帳所持者の場合は、下に記入してください。

	氏名	年齢	職業	手帳番号
被爆者				
炭鉱離職者				